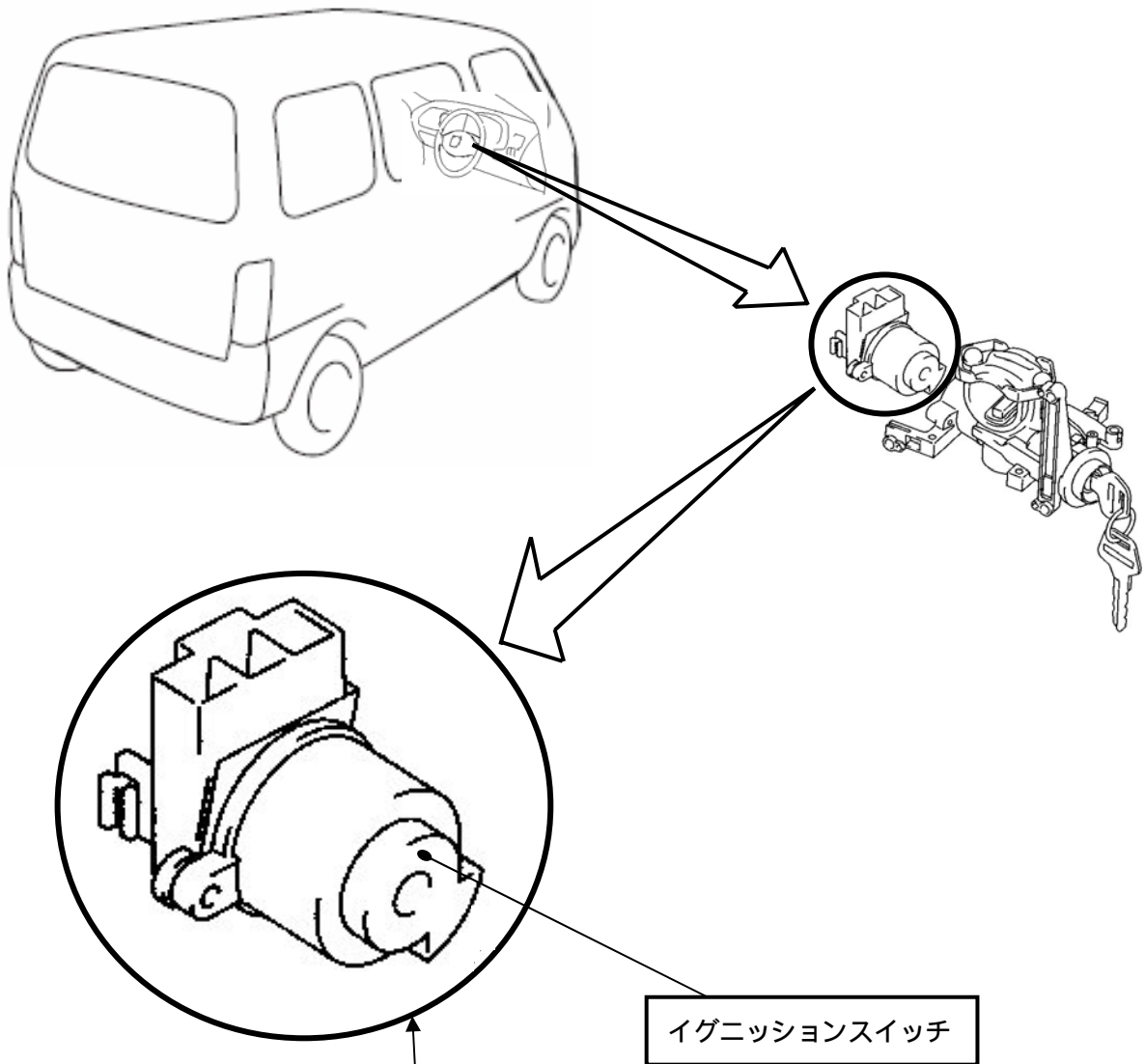


## 改善箇所説明図



### 基準不適合発生箇所

イグニッションスイッチの接点の構造が不適切なため、スイッチの使用頻度が極めて高い場合、作動時に発生する摩耗粉が接点付近に溜まって導通するものがある。そのため、そのまま使用を続けると、スタータモータが回転し続けるとともに、スイッチの接点が発熱し、摩耗粉から異臭、煙が発生し、最悪の場合、火災に至るおそれがある。

### 改善の内容

全車両、イグニッションスイッチを対策品と交換する。

注：  は交換部品を示す。

識別： I D プレートの下部に赤色のシールを貼付けする。